

## 資料 2 「射水市内水ハザードマップ」を活用して災害に 備えましょう

近年、激甚化・頻発化する豪雨等による内水（※1）による浸水被害の最小化と市民の皆様の防災意識向上を目的として、新たに「内水ハザードマップ」を作成しました。

「内水ハザードマップ」は、1時間に130ミリメートル（1000年に一度）の降雨を想定し、市内の浸水が予測される区域とその浸水深を詳細に示したものです。

※1「内水」とは：大雨やゲリラ豪雨などにより、下水道の雨水排水能力を超過し、側溝などから水があふれることで発生する浸水現象であり、河川の増水による氾濫（外水）とは異なります。

### 1 内水ハザードマップの主な特徴

#### (1) 浸水リスクの視覚化

大雨時にご自宅周辺や道路がどのくらいの深さまで浸水する可能性があるか（内水浸水リスク）を色分けされた地図上で一目で確認できます。これにより、お住まいの地域の浸水特性を把握し、災害への潜在的な危険性を認識できます。

#### (2) 災害時の行動支援

万が一浸水が発生した場合に取るべき行動について、事前に確認・検討することが可能です。マップには、近隣の避難場所・避難所情報が掲載されており、ご家族での話し合いや具体的な避難計画の策定に役立ちます。

#### (3) アクセス性

本マップは市ホームページにて公開しており、パソコンやスマートフォンからいつでも手軽に情報を取得・閲覧できます。また、マップの二次元コードから防災に関する情報も取得・閲覧できます。



### 2 内水ハザードマップの配布

- (1) 配布方法 広報いみず6月号と同時配布
- (2) 配布対象地区 全戸配布（地区別に4種類。縮尺：1/15,000）
  - 新湊地区（西側）
  - 新湊地区（東側）・下地区
  - 小杉地区
  - 大門地区・大島地区

いざという時に慌てることなく、冷静かつ適切な行動がとれるよう、ぜひ本マップをご活用いただき、日頃からの備えにお役立てください。